

近江八幡市立桐原東小学校

活動テーマ

令和3年度
エコ・スクール活動報告書

校区を流れる河川と景観隊に学ぼう

実践事例について

桐原東小学校では、校区を流れる白鳥川での調査・観察を通して、地域ボランティア【白鳥川の景観をよくする会】と本校5年生を中心に学びを共有・交流する環境学習を12年間継続しています。今年度、初めて本事業に申請させていただきましたので、活動の様子を紹介させていただきます。

1 本校の概要

(1) 本校の立地環境

本校は児童数406名、各学年2～3学級の中規模の小学校です。

本校区は、近江八幡市の市街地に位置し、多くの商業施設や市立病院、昔から生活しておられる地元の住宅と近年開発が進んでいる新興住宅が混在しています。また、校区内には白鳥川と藤間川が流れており、馴染みのある川となっています。学校も住宅地と片側2車線の比較的大きな道路、藤間川と隣接しています。JR近江八幡駅にも比較的近く、線路を越えて通学している児童もいます。

一方、休み時間で徒歩移動が可能な距離に、たんぼや河川があり、「たんぼのこ」や調査・観察などの環境体験学習がしやすい環境にあります。

(2) 地域とのかかわり

本校も地域学校協働本部推進事業を実施しており、地域のボランティアの組織が学習支援やゲストティーチャーとして長年関わっていただいています。

毎月1回学校支援グループ代表者会議を地域学校協働本部推進員、管理職と話し合いや打合せの会議を持っています。今年からはコミュニティ・スクールの組織としても活動しているところです。この中に、「白鳥川の景観をよくする会(景観隊)」も加わっています。

(3) 白鳥川に関わる本校の学習

3年生：まち探検で景観隊の方のおはなし



4年生：地域の自然をまもる人々のおはなし (白鳥川・八幡堀)



【白鳥川:吉田さん】



【八幡堀:苗村さん】

5年生：たんぼのこ、白鳥川の体験学習、びわ湖 フローティングスクール

2 5年生白鳥川の体験学習

(1) 事前学習(10月1～5日に実施)

4年生の時に、地域の自然をまもる人々のおはなしの中で、景観隊の取組について、ゲストティーチャーのお話を聞き、わかったことを新聞などにまとめました。

今年は、実際に川へ行き、調査や観察をします。昨年よりも、もう少し具体的な川の様子や、観察・調査のポイントなどを事前に学習します。本来であれば、景観隊の方から直接お話を聞くのですが、新型コロナウイルス感染状況により、資料をお借りし、担任からの説明となりました。

【説明内容】

- (1) 白鳥川について
- (2) 「景観隊」の活動について紹介
- (3) 調査隊の活動について
- (4) 質問、その他
- (付) 防災について

子どもたちは現地で、実際に体験できるのを大変楽しみにしました。

(2) 景観隊による事前準備

景観隊の取組活動の中に「小学校児童の環境学習の場づくり」が位置付けられています。

- ・川原の草刈
- ・説明資料の準備
- ・机、パイプ椅子、テントの準備
- ・観察用具の整備

(3) 調査・観察（10月6日に実施）

当日は、9:30に学校を出発し、2～4校時で活動しました。

景観隊の方は30名が参加されました。この日を楽しみに活動されている方もおられるそうです。



調査・観察項目は次のとおりです。

A班：川に入り生き物調査

B班：陸で水質テストや植物観察

- ①川の水の透視度テスト
- ②川の水質テスト（CODパックテスト）
- ③植物観察

景観隊の方が4つグループに分かれて指導していただきます。

児童73名は4つのグループに分かれローテーションしてすべての活動をします。

A班：川に入り生き物調査



- ◆ぼくが印象に残っているのは生き物観察です。いろいろな生き物がいておどろきました。
- ◆川に入ると水が冷たくてびっくりしました。
- ◆初めてエビもつかめました。

B班：陸で水質テストや植物観察

①川の水の透視度テスト

- ◆白鳥川は「×」が100で見えました。本当にきれいにしてくださっているんだなと思いました。



②川の水質テスト（CODパックテスト）



- ◆調査の仕方をわかりやすく説明して下さりありがとうございました。

③植物観察



- ◆白鳥町に住んでいて、魚釣りはしているけど、植物のことはあまり知らなかったのので、知ることができて良かったです。

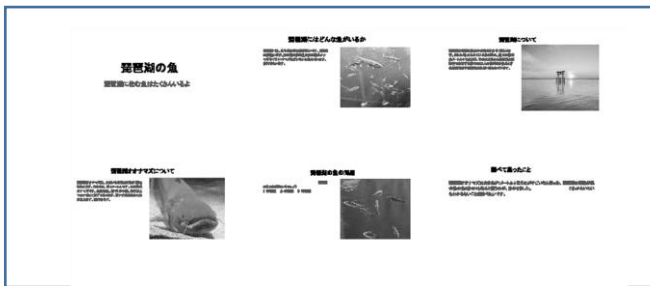
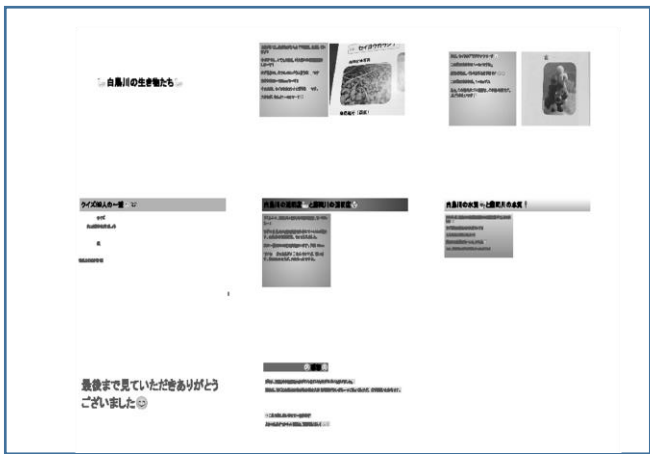
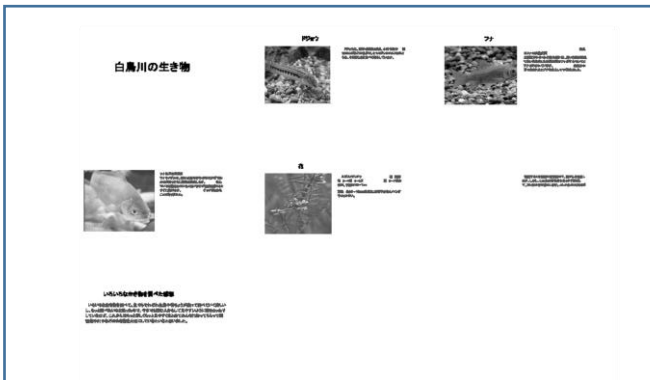
- 白鳥川はきれいで、自然いっぱいだと思います。白鳥川を大切にしようと思いました。
- 次の5年生のために、白鳥川にゴミが落ちていたら拾うようにするし、捨てないようにします。
- 景観隊のみなさんが、いろいろな活動をしていることで、川は自然のままきれいに保たれているんだなと思いました。
- ぼくも川などをきれいにしたいです。ゴミを捨てている人がいたら注意して、自分も捨てません。

(4) 白鳥川学習からびわ湖フローティングスクールへ

例年の取組では、白鳥川の体験学習のまとめをした後、景観隊のみなさんを招待して発表会を実施していました。今年度はコロナ禍の影響や、フローティングスクールの期日の関係で、白鳥川の体験学習のまとめをびわ湖学習の予習に重ねて取り組むことにしました。

まとめは、各自のiPadでスライドを作成し、学級で交流の場を持ちました。

こういった学習を重ねた後のフローティングスクールでの船上学習では、どの児童も、有意義な時間を過ごしていたように思います。



【児童が作成したスライド】

(5) 白鳥川遊歩道桜並木のぼんぼり

この体験学習を終えて、白鳥川の生き物や環境保全のミニポスターを作成します。それを景観隊の方が「ぼんぼり」の枠にはめ込み、桜並木に飾られます。(3月中旬～4月中旬)

3 12年間のふりかえりとこれから

今年度、「白鳥川の景観をよくする会(景観隊)」とこれまでの学習活動を振り返る機会を持ちました。

会からは代表と事務局担当の4名が、学校からは管理職2名と5年生担任の3名、地域学校協働本部推進員1名の計10名が参加し、本学習について話し合いました。(1月21日)

景観隊の方は、12年間同じことの繰り返しでいいのか、教育内容の変化に合わせて、もっと新しいことに取り組む方がいいのかという不安を持っておられるようでした。

学校からは、この体験学習後の理科や総合的な学習、日常生活での白鳥川とのかかわりや、児童の様子を話題に出しました。

次のようなことを共有し、今後も景観隊との体験学習を継続していくことを確認しました。

- ・川の学習で再度白鳥川に行くと、ごみが気になり拾い出す児童の行動につながったこと。
- ・実際に触れて見て感じる体験学習が児童の心身の成長にとって有意義であること。
- ・身近な環境を大切にしたい気持ちを醸成できること。
- ・景観隊の作成された資料が学習で非常に役立っていること。
- ・本学習での調査データを保存し積み上げていくことの有用性と景観隊と学校の財産になること。
- ・景観隊の方の生きがいの場であること。
- ・将来の景観隊を生み出す機会になること。

今回、景観隊の方からのご助言でエコ・スクールに申請させていただきました。

これまでもたくさんのご支援をいただいています。学校での学習が、地域の方の活動と協働していけるよう本体験学習を大切にしていきたいと考えます。

ご支援ご協力いただいた関係の方々に感謝申し上げます。

学 校 名	近江八幡市立桐原東小学校
住 所	近江八幡市土田町175
電話番号	0748-33-2307
E-mail	kiriharahigashi-es@omihachiman.ed.jp